

摂南大学

摂南土木会会報

摂南
土木会

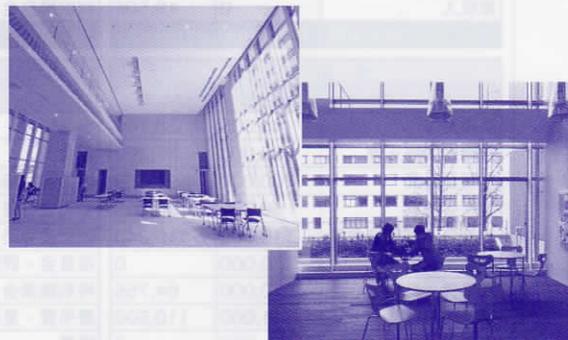
No.34

平成 25 年 10 月 11 日

発行所 摂南大学土木会
〒572-8508 寝屋川市池田中町17-8
摂南大学理工学部都市環境工学教室内
TEL.072-839-9117
FAX.072-838-6599

CONTENTS

- 会長挨拶
「土木会創立50周年に向けて」
会長 新井 栄作（摂大昭和60年卒）
- 学科長挨拶
「都市環境工学科の完成年度を迎えて」
熊谷 樹一郎
- 総会報告 平成25年度 摂南大学土木会総会
- 教室だより
■ 「都市環境システム工学科 建築士プログラム」
（一級建築士受験資格）認定条件
- 同窓会報告
- 技術士会だより
- 2013年度の就職状況
- 在学生特集
テーマ「土木に対するイメージ」
- 卒業生特集
求められる技術と人材



土木会創立50周年に向けて

会長 新井 栄作 (撰大昭和60年卒)

東亜建設工業(株)



土木会会員の皆様には、各方面でご活躍のこととお慶び申し上げます。この度の役員改選に当たり、藤田孝志会長の後任として撰南大学土木会の第八代目会長を引き受けることになりました。諸先輩方が築いてこられた輝かしい四十九年の歴史をもつ土木会会長に、若輩な私が就任することとなり、身の引き締まる思いがいたします。諸先輩方をはじめ会員各位のご指導とご鞭撻をいただきまして土木会発展のために努力する所存であります。

さて、公益社団法人土木学会が2014年11月で創立100周年を迎えます。撰南大学土木会は2014年11月に創立50周年記念祝賀会を開催します。土木会は今年度から新たな役員、評議員を迎えました。土木会は、会員相互の動静を把握するとともにその親睦をはかり、もって、本会の発展に寄与し併せて都市環境工学科へ貢献していきます。今年度は総会(11/16)を常翔学園大阪センター(大阪市北区梅田)で開催します。多くの同窓生に参加して戴きますようお願いいたします。年に二度の会報発行(10/11)は継続していきます。役員会、評議員会は2か月に1回の予定で開催します。今まで以上に親睦会の開催を増やします。また、卒業生による講演会も教員の方々と相談しながら行う予定です。講演会を通じて卒業生と在学生の交流と都市環境工学科へ貢献できると考えています。撰南大学土木会HPは会員相互の絆をさらに深めていくことができるツールです。うまく活用していただきますようお願いいたします。最後になりますが、会員の皆様のご支援を深くお願いいたしまして、就任の挨拶とさせていただきます。

学科長挨拶

都市環境工学科の完成年度を迎えて

JABEEの継続審査結果と学科運営

熊谷 樹一郎



撰南大学土木会会員のみなさまにおかれましては、平素より当学科の運営にご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。2010年度(平成22年度)より新たにスタートした

都市環境工学科は、本年度で完成年度を迎えることになりました。本年度末には、都市環境工学科の1期生が撰南大学土木会の正会員となり、さまざまな進路へと進んでいくことになろうかと思えます。あらためまして、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。本年度、学科内では片桐信先生が教授に昇任されました。体制は専任教員10名と共通準備室スタッフ3名となっております。ご挨拶に代えて、これまでの学科の主な動きをご紹介します。

- ① JABEE認定継続審査の結果について
2013年4月26日付けでJABEE認定継続審査の結果(認定)が正式に通知されました。審査プログラムは、2009年4月入学生までが「工学科都市環境システム工学科」「都市環境システム総合コース」、2010年4月入学生からは「理工学部都市環境工学科」「都市環境総合コース」で、認定期間は2012年4月1日〜2018年3月31日の6年間です。審査の結果、29の審査項目で、「A(適合)」判定27、「C(懸念)」判定1、判定対象外1といった内容でした。JABEE審査チームから、本プログラムが特に評価された点は次のとおりです。
- ② プログラムを継続的に発展させる努力を続けている点。
- ③ 理工学部全体(生命科学科を除く)がJABEE受審体制をとり学部共通の学習教育目標を掲げ教育改善に取り組んでいる点。
- ④ 2012年度より科学技術教養科目を理工系教養科目として開講している点。
- ⑤ 学部の導入教育として初年次に理工学基礎実験を実施している点。

ご案内

平成25年度 撰南大学土木会総会

平成25年度撰南大学土木会総会を下記日程で開催いたします。是非、旧友とのご連絡をお取りいただき、ご参加いただけますようお願い申し上げます。

■と き:平成25年11月16日(土)

○15:00-16:00

特別講演 「駅改良など大規模プロジェクトに用いられる大口径場所打ち杭の施工方法」

(発表者) 鉄建建設株式会社
土木本部エンジニアリング部 担当部長

長尾達児 先生

○16:15-16:45 平成25年度総会

○17:00-19:00 懇親パーティー

■と ころ:常翔学園大阪センター(特別講演・総会)
毎日インテシオ4F大会議室(懇親パーティー)
〒530-0001 大阪市北区梅田3-4-5

■会 費:3,000円

準会員(学生)向けの講演

10月26日(土)

13:00~14:00(8号館4階842教室)

「近畿地方整備局の事業紹介」

国土交通省 近畿地方整備局 山田 勝輝 先生

撰南大学土木会創立50周年記念祝賀会

平成26年11月、撰南大学寝屋川学舎で創立50周年祝賀会を開催いたします。

詳細事項は決まり次第、会員の皆様ご連絡いたします。

【撰南大学土木会】平成24年度 決算書・平成25年度 予算書

平成24年度決算は表1のとおりであり、監査を経て、平成25年5月の役員会で収支とも相違ないことが認められた。

また、平成25年度予算は表2に示すとおりである。学科の定員数減の影響があり、収入の部では特別積立金より1,000千円を繰り入れている。支出の部では、本年度開催される総会の費用が総会費として計上されている。

表1 平成24年度決算

収入の部		
科目	予算	決算
前年度繰越金	148,496	148,496
正会員入会金 70名	700,000	665,000
広告料	340,000	260,000
預金利息	500	415
名簿売上	3,000	0
雑収入	0	19,506
合計金額	1,191,996	1,093,417

支出の部		
科目	予算	決算
事務費等	40,000	38,700
名簿追加修正費	60,000	27,200
会報発行費	700,000	691,879
同窓会補助	60,000	30,000
役員会・評議員会費	110,000	119,240
特別講演会	150,000	0
慶弔費・見舞金	70,000	64,755
雑費	1,000	110,500
予備費	996	0
次年度繰越金	0	11,143
合計金額	1,191,996	1,093,417

平成24年3月31日現在 特別積立金440万円

表2 平成25年度予算(案)

収入の部	
科目	予算
前年度繰越金	11,143
正会員入会金	520,000
広告料	320,000
預金利息	500
名簿売上	3,000
特別積立金より繰入	1,000,000
合計金額	1,854,643

支出の部	
科目	予算
事務費等	40,000
総会費	400,000
名簿追加修正費	30,000
会報発行費	700,000
同窓会補助	50,000
役員会・評議員会費	250,000
特別講演会	100,000
慶弔費・見舞金	70,000
雑費	110,000
予備費	104,643
合計金額	1,854,643

平成24年4月1日現在 特別積立金440万円

教室だより



今年度、都市環境工学科には、1年次84名(4名)、2年次72名(7名)、3年次68名(4名)、4年次80名(6名)で合計304名(21名)の学生が学んでいます。大学院の社会開発工学専攻における学科出身者は、1年次4名(1名)、2年次4名(1名)です。なお、括弧内の数値は女子学生を示します。

一方、教職員は専任10名、非常勤30名、事務スタッフ3名の陣容で教育・研究の指導に当たっています。

①熊谷樹一郎教授が引き続き学科長として学科運営に当たっています。
②来年度卒業見込80名は、就職活動に取り組んでいます。徐々に、内定を得るようになっております。

③昨年度、JABEE (日本技術者教育認定機構) の継続審査を受審し、「都市環境システム総合コース」(2010年4月入学生より、「都市環境総合コース」) が6年間の認定を受けました。

学科の主催する行事として2012年9月12日に実



学生向け講演会



NEXCO総研緑化技術センター (3年生)



琵琶湖疎水記念館 (1年生)

施した講演会および現場見学会について紹介させていただきます。講演会では、(社)建設コンサルタンツ協会 (JCCA) のご協力を得て、建設コンサルタントの役割や業務内容などについてご講演いただきました。

同日に実施した現場見学会においては、1年生は2箇所 (①人と防災未来センター、②琵琶湖疎

水記念館) に、3年生は3箇所 (①都市計画道路大和川線常盤東開削トンネル工事、②NEXCO総研緑化技術センター、③安威川ダムおよび付替工事) にわかれて現場を見学しました。参加した学生は、座学だけでは学ぶことが難しい建設業の現場の魅力や土木技術者の役割を肌で感じることができたようでした。(田中記)



都市計画道路大和川線常盤東開削トンネル工事 (3年生)

- ⑤人文教養科目、英語科目や数学・物理学の担当者などと密な連携を取り、シラバス改善や英語共通試験を実施している点。
- ⑥デザイン科目群 (エンジニアリングデザイン科目グループ) で創意工夫された充実した教育を行っている点。
- ⑦専門科目 (α、β) やデザイン科目群の少人数クラス編成教育の実施が行われている。
- ⑧全学的な教育支援組織である学習支援センターが高校と大学との接続教育の機能を十分に発揮しており、教育の質の向上に多大に寄与している。学習支援センターの拡充が学生からも望まれている。
- ⑨2010年度の改組時に学習・教育目標の見直しを行い、新しい学習教育目標を設定し、プログラムの持続的発展を可能とする新しいプログラムを立ち上げている。
- ⑩きめ細かい教育が実施され、在学生・卒業生の満足度の高い教育が行われている。

■技術士一次試験合格に向けた特別講演会
本会会員のみならずが中心的に運営されている摂南大学技術士会の協力の下、本年度は6月21日に「技術

す。教育プログラムの認定を通じて教育の質のレベルアップを図り、実効性ある教育システムへと継続的に改善することに主眼があります。今回の認定継続審査を通じて得られた知見を基に、今後の認定継続審査を通じて改善を進めていく予定です。

(2) 学科からの情報発信
これまでに学科のホームページ (<http://www.setsunan.ac.jp/civ/>) で公開された主な情報は次のとおりです。

■大学院生の受賞
5月に開催された日本写真測量学会平成25年度年度次学術講演会において、本学科卒業生で摂南大学大学院生の安野真琴君が年次学術講演会論文賞を受賞されています。また、6月に開催された平成25年度土木学会関西支部年次学術講演会では、本学科卒業生で摂南大学大学院生の杉江葉月さんが優秀発表者として表彰されました。

海老瀬潜一教授、澤井健二教授 退職記念講演のご案内

摂南大学において教鞭をとってこられました海老瀬潜一教授、澤井健二教授が、来年3月31日をもちまして退職されることになりました。つきましては、下記のとおり退職記念講演が開催されますので、ご案内申し上げます。また、退職記念講演のあと、両先生を囲んで簡単な懇親会を催しますので、こちらにつきましてもご参加くださいますようお願い申し上げます。

ご多用中のところ誠に恐れ入りますが、卒業生や関係の方々をはじめ皆様のご来臨をお待ちしております。

退職記念講演&懇親会

日時：2014年3月8日 PM (予定) 会場：摂南大学 (予定)

詳細につきましては、当学科のHP (<http://www.setsunan.ac.jp/civ/>) をご確認ください。(12月頃掲載予定)

問い合わせ先：摂南大学理工学部都市環境工学科 道廣一利

TEL：072-839-9126 FAX：072-839-9126

E-mail：michi@civ.setsunan.ac.jp

士一次試験合格に向けた特別講演会」が開催されました。摂大18年卒摂大院20年修了の山田雄太さん(株かんこう)に登壇いただき、技術士資格の必要性など、在校生に興味深いお話しをいただきました。本年度は、主に3年生と4年生に参加を呼びかけましたが、40名を超える出席者数となりました。資格に対する意識が高まっているものと思われれます。質疑も活発に行われ、盛会に終わることができました。

(3) 今後の展開
新井新会長となり、摂南大学土木会も新たなスタートを切ったところかと存じます。これまで以上に、本会と学科との関係を密にしていける良い機会になればと考えております。この9月には1年生、3年生向けに現場見学会が実施されますが、見学先の選定には早速本会からの貴重なサポートをいただいております。

来年度は摂南大学土木会創立50周年を迎えます。みなさまの益々のご健勝と本会のさらなるご発展を心より祈念いたしております。

「都市環境システム工学科 建築士プログラム」(一級建築士受験資格)認定条件^{*1}

入学年(西暦)	入学年(平成)	学科	「建築士プログラム」認定の条件
2002	14	都市環境システム工学科	平成20年度開講の「建築製図」又は平成21年度から開講の「建築設計製図I」を科目履修生として単位取得する ^{*2} 。又は同等の科目を他大学で履修して単位取得する ^{*3} 。
2003	15		
2004	16		
2005	17		
2006	18		
2007	19		
2008	20		
2009	21		
			平成21年度から開講の「建築設計製図I」を単位取得して卒業する。又は卒業後に「建築設計製図I」を科目履修生として単位取得する ^{*2} 。もしくは同等の科目を他大学で科目履修して単位取得する ^{*3} 。
			認定されない。 ^{*4}

*1：一級建築士受験を目指す「建築士プログラム」認定の条件です。卒業後に、建築に関して2年以上の実務経験を経て一級建築士試験の受験資格が得られます。二級建築士は、卒業後に1年以上の実務経験を経て受験できます。この場合、「建築士プログラム」認定の必要はありません。また、二級建築士資格後、4年以上の実務経験を経て一級建築士が受験できます。

*2：卒業後に対象科目の単位取得を行った場合も実務経験の起算日は卒業時となりました。なお科目履修の手続きについては教務課に問い合わせください。

*3：卒業後に対象科目の単位を他大学で取得した場合でも一級建築士の受験資格が得られるようになります。詳しい条件等については教務課又は(財)建築技術教育普及センターに問い合わせください。

*4：2009年度入学生(2010年度以降は都市環境工学科)からは新建築士法が適用されます。「建築士プログラム」は認定されませんが、新建築士法の規定により、指定科目の履修と所定の実務経験から二級建築士の受験資格が得られます。

平成25年5月21日に永眠されました。

本松 祐二 様

(高専昭和48年3月卒業)

謹んでご冥福をお祈りします。

計報

同窓会報告

撰大・高専合同ミニ同窓会

山口 雅明 (撰大昭和55年卒)

去る平成24年4月27日(土)午後5時から大阪市心斎橋の鉄板焼き「でりしやす」でミニ同窓会を開催いたしました。

このミニ同窓会は、昭和55年卒の2期生だけでなく3期生や4期生及び同時期の学びの友でありました大阪工業高等专科学校卒業生との合同ミニ同窓会を開催しているもので、この同窓会は報告会として1年に2回(6月・12月)開催していますが、本年の1回目は4月の開催となりました。

当日は、25名程度に案内をしましたところ、12名の出席がありました。気が知れている仲間でもありますが、大変盛り上がり楽しい一時を過ごす事ができました。普通、同窓会の話題は、学生時代の思い出？

澤井ゼミ(元・水工学研究室、現・水辺環境創出研究室) 発足20周年記念同窓会

小川 芳也 (撰大14年卒撰大院16年修了)

去る平成25年3月16日(土)に撰南大学1号館1階「構造・水工実験室」にて同窓会を開催いたしました。

当日は、澤井ゼミOBだけでなく澤井ゼミ生をご指導等いただいた方々、他の研究室OB、現澤井ゼミ生、4月からの新澤井ゼミ生と33名の方にご参加いただきました。

十数年ぶりに澤井先生と再会された先輩、新しい実験室に初めて来られた先輩後輩、4月からの就職に不安を感じている4年生、これから卒業研究・就職活動に取り組む3年生等が、様々な立場の方と交流を図っていました。

となるのでしょうか、卒業してから30年以上となり、社会人として、それなりの立場にもあり、この不景気を如何に乗り切るか、近づく定年の話などが、この最近のミニ同窓会の定番話題となり、年齢を感じさせるものであります。

次回は、もっと多くの方の参加を期待しています。

最後に本同窓会の開催に当たり、撰南大学土木会からお祝いをいただき有り難うございませう。この場をお借りしてお礼申し上げます。

次回は、来年3月に開催を予定していますので、今回以上に多くの方にご参加をお願いいたします。

また、同窓会開催にあたり撰南大学土木会には開催案内を会報に掲載いただき有り難うございませう。この場をお借りしてお礼申し上げます。



技術士会だより

会長 木下 幸佐 (撰大昭和57年卒)

技術士会は建設部門、上下水道部門、機械部門に合格された62名の会員で活動しています。毎年、総会・特別講演会を開催しています。技術士会は来年6月総会10周年記念祝賀会を開催します。総会では技術士試験の相談会を開催しています。相談したい方は事前に幹事・新井まで連絡してください。連絡先：e_arai@toa-const.co.jp

平成20年に大学技術士連絡協議会が発足し撰南大学技術士会もメンバーとして大学相互の技術士の連携・啓発活動に参画しています。大学技術士会連絡協議会は20大学で構成され毎年、東京で総会が開催されます。大学技術士会連絡協議会メンバーは以下の通り。①東京工業大学②日本大学③早稲田大学④京都市大学⑤東京理科大学⑥中央大学⑦千葉工業大学⑧工学院大学⑨東北大学⑩大阪工業大学⑪撰南大学⑫名城大学⑬芝浦工業大学⑭慶應義塾大学⑮室蘭工業大学⑯九州工業大学⑰名古屋工業大学⑱大阪大学⑲京都大学⑳東京電機大学

※技術士試験に合格された方は是非とも撰南大学技術士会に入会してください。

※入会は撰南大学技術士会HPから手続きをお願いいたします。

2013年度の就職状況

—景気回復の兆しの中での就職戦線—

都市環境工学科 教授 片桐 信

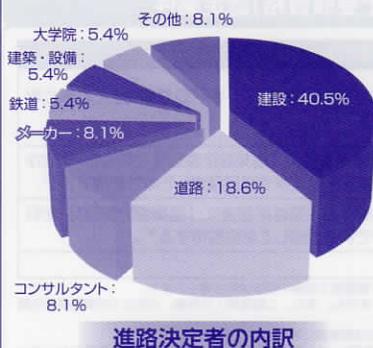
2014年卒業・修了予定者の就職活動が2012年の12月からスタートした。本格的な活動は2013年の1月からである。

本年度の企業募集活動の特徴は、各社とも早い段階から募集を開始していることであり、これまで募集活動を後半にずらしていた中堅ゼネコンにおいても、大手と同じ時期に活動を開始している場合が多い。さらに大きな変化は、東日本大震災の復興、団塊の世代の退職に伴う即戦力技術者の不足、多くの土木施設の老朽化への対応、政権交替による景気回復への期待感などから、各社とも募集人員を大幅に増やしている事にある。

そうした状況の中で、都市環境工学科からの就職予定者は、学部が78名、大学院4名である。この内、2013年7月18日時点での進路内定者は大学院進学も含めて学部が37名、大学院が2名である。学部の内定率は約47%であり、この時期に来て内定率が伸び悩んでいる状況にある。

企業の求人意欲が伸びる中において、内定率が伸び悩んでいる状況には、概ね2つの理由がある。第1の理由は、就職活動を懸命に進めてきたが、惜しくも内定に到達できずに来た学生が多いことである。募集意欲の高い企業であっても、その採用試験は厳しくなっているものと推察される。問題なのは

第2の理由である。依然として就職活動に積極的でない学生が散見される点である。未だに、自分ほどのような職業に就きたいかを決めかねており、企業研究や業界研究も十分に行っていない。就職部において、様々な活動を行っているが、これら学生には効果が薄いようである。これから就職活動は終盤を向える。社会が求めている技術者像と自身の将来像をマッチさせ、自分の個性に合った職種に就いてもらいたいと願うところである。卒業生の先輩諸氏には、今後とも就職支援をお願い申し上げます。



テーマ「土木に対するイメージ」

充実した生活の中で、私達はこんなことを考えています!

「土木は生活環境の基盤となる」

2年生 小野 裕基



私が入学した頃、土木と聞いて思いつくことは土を掘ること、山間やダムで工事を行うことなどの力仕事かつ屋外作業をしているイメージでした。しかし、この都市環境工学科

で1年間勉強し、様々な現場見学や体験を通して自分がイメージしていたものは、ほんの一部でしかないことを知りました。

私は、もともと環境についての勉強をしたいと思い、この学科を選んでいたので、土木が自分のやりたいものに関係しているので、また土木へのイメージが変わりました。

土木は、様々なものの基盤となり環境、建設整備など多方面との繋がりがあがることで、生活環境を作り上げることが分かりました。これらのことを大学の進路を考える段階で、詳しく知る機会があれば土木に対するイメージがもっとはやく変わっていたかもしれません。

「土木の大切さに気付きました!」

1年生 相松 舞花



私は、土木を学ぶということあまりイメージできずに入学しました。最初は、土木に対する知識もなく不安がありました。しかし、土木を学びたくて入学した友人の話や講義

を受ける中で、私の中で土木に対する意識が変わっていききました。例えば、最近の集中豪雨や台風による川の氾濫のニュースです。今までの私は、このようなニュースを聞いても「大変だなあ」としか感じませんでした。しかし、今は被災後の堤防の修復などにも関心を寄せるようになりました。

新たな考えをもって、自分の住んでいる街を再度見渡してみると、至る所に土木構造物があり、その社会基盤のうえに私たちの生活が成り立っていることに気づきました。今では、この人々の生活に必要な不可欠な土木を学ぶことに大きな意義を感じています。これからの4年間で、土木に関する知識や経験を深めていきたいです。

「土木のイメージ変化を促すために」

4年生 川口 雄大



私が、今、土木に対して持っているイメージは、「人が生活するために重要な構造物を建設する仕事」です。今は、こういうイメージを持っていますが、1年生の時は、あまり

いいイメージを持っていませんでした。談合のこともありますが、最も印象的だったのは、現場で働いている人が亡くなったというニュースを見て、土木とは、危険な仕事なのだと感じていました。しかし、これまでの先生方の授業や現場での体験談、現場見学などを通して、土木に対してのイメージが徐々に変わりました。私は、本当に狭い範囲しか見ていなかったのだと思いました。これまで経験できたことで、今の「人が生活するために重要な構造物を建設する仕事」というイメージに変わりました。今でも土木によくはないイメージを持っている人がいるので、将来、活躍してこのイメージを変えられるようにしたいと考えています。

『あたりまえ』を支えたい!

3年生 松田 優花



高校三年生の春、私は大学でなにを学びたいかがわからず進路に悩んでいました。そんなとき、大学情報の載った冊子で「土木」という単語を見つけ、これだ!と思いました。電車に乗る機会が多かった私は車窓から街を眺めながら多くの建物や道路、橋、港…私たちが今当たり前に使っているものは、すべて1から人間が造ったものであり、これだけの構造物を造ること

にどれだけの労力と時間がかかったのか…と考えていました。そして、「土木」という道があることを知り、その当たり前を供給される立場ではなく支える立場になりたいと思うようになりました。

もちろん造るだけではなく、自然環境との共存や、強度、コスト、使いやすさなど様々なことを考える必要があります。私にとって土木とは、「あたりまえの生活」を支えるものであり、人と人、人と環境を繋ぐ最初の架け橋です。

編集後記

このページは私たち大学院生が企画し、作成したものです。ここでは、先生方、OBやOGだけでなく学生や学生のご家族にも親しみのある会報誌になるように、学生自身の考えや意見を主に掲載しています。現在、本学科には304名の学生が在籍しております。そこで、学科内で魅力的で探究心のある学生を発掘し、在校生を代表して本学科をPRしていただきます。近年の東日本大震災による復興活動により、我々が日々勉強に勤しんでいる土木の活動が世間に知られる機会が多くなりました。そこで、OBやOGの方々や、学生のご家族、そして他の学生に土木のイメージの学年ごとでの違いを知っていただくという理由から「土木に対するイメージ」というテーマを選びました。インタビューを通じて、3回生や4回生は将来自分が就職するであろう土木関係の仕事を考えており、自分がどのように土木に関っていくのか詳細なイメージを持っていました。そして、1回生や2回生は勉強に勤しむことで土木の新しいイメージをどんどん身に付けています。最後にこのページの作成においてご協力いただいた先生方やアンケートに答えていただいた学生の皆様へ、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。



大西 正洋、藤原 正佑、小松 誠直

京阪本線連続立体交差事業

寝屋川市 まち政策部 都市計画室

小山 裕貴 (撰大16年卒撰大院18年修了)



私は平成18年に大学院を修了した後、一般社団法人近畿建設協会に入社し、6年間、河川管理業務や公益関連事業等を中心に携わってきました。その後、平成24年からは摂南大学のある寝屋川市に転職し、現在は都市計画室において、主に京阪電車の連続立体交差事業の担当をしています。

京阪本線連続立体交差事業は、市の主要プロジェクトのひとつとして位置づけられており、すでに高架化されている寝屋川市駅と枚方市駅間の約5.5kmの鉄道線路を高架化する事業で、寝屋川市域における関連事業としては、鉄道の併走する既設府道の拡幅及びバイパスの新設、香里園駅東側の駅前広場の新設、鉄道線側への環境側道の新設、幹線下水道の移設等が挙げられます。事業は今年の3月に都市計画決定を行い、現在は年内の事業認可取得に向けての手続きを進めている段階です。事業主体は大阪府ですが、事業用地の買収及び環境側道のうち、市道となる路線の整備は地元市である寝屋川市及び枚方市、高架本体工事は京阪電鉄が行うもので、平成40年度の事業完了を予定しています。

事業認可取得後には用地測量、用地補償費の算出、用地買収の交渉等のステップがあります。寝屋川市では用地課や用地専門職員がおらず、また、土地開発公社もすでに解散しているため、事業担当課職員が直接用地買収を行うこととなります。用地買収には、土地収用法をはじめ民法、建築基準法、不動産、税、登記等に関する膨大な知識が必要です。これまで一度も携わったことも触れたこともない分野のため勉強の毎日ですが、入庁して間もない私がこのような規模の大きい事業に関わることができ、非常に大きなやりがいを感じています。

最近では市業務のアウトソーシング化が進み、技術系公務員は不要という風潮も一部ではあるようですが、技術系職員としての誇りと自覚を持ち、自己研鑽を積みながら必要とされる職員となれるよう努力していきたいと思っています。

「私の社会人生活」

日本コンクリート工業株式会社 西日本管理本部名古屋支店

谷内 秀省 (撰大18年卒撰大院20年修了)



私が大学生のころは、女性は土木や建築の技術系で仕事できる場所が少なく、それでも「どうしても技術系の仕事がいい」という自分の夢の可能性を広げるため大学院に進学しました。そして2008年、自分の理想である「技術職」として、日本コンクリート工業(株)に入社することができました。

入社してから約4年間は技術開発部門に所属し、杭基礎の製品開発に携わってきました。新製品の開発や性能の照査のため製造工場や施工現場に出張したり、開発した製品の認定・評価の申請(いわゆる新製品を使用してもよいという「お墨付き」をもらう仕事)を行ったりしていました。

2012年4月に営業部門に異動となりました。営業といっても、自社が開発した製品や施工方法を使って、上部構造を支える杭基礎の設計を行う「技術」的な仕事を行っています。

入社当初は「技術の女性」ということもありとても珍しがられました。最近ほとんど女性の技術職も増えてきており、違和感無く仕事ができるようになりました。仕事では何度も失敗し、怒られたりもしました。でもそれは性別の違いなど関係無く、対等に接してくれている証拠なのだと思っています。

また、いろいろと落ち込んだりすることもありましたが、学生時代からの友達や社会人になってからの友達の支えもあり、ここまで頑張れたのだと思います。

この7月に名古屋支店に異動となりました。今の仕事を名古屋で行うことになりました。また新たな場所でスタートを切ります。いろいろと不安ではありますが、プレッシャーに負けないように頑張りたいと思います。

卒業生から近況報告

株式会社IHIインフラ建設

PC事業部 PC技術部 西日本設計G

中川 佳祐 (撰大21年卒撰大院23年修了)



私は、平成23年に摂南大学大学院を卒業し、株式会社IHIインフラ建設(旧ピーシー橋梁株式会社)に入社して三年目を迎えました。当社は、発注者(国土交通省、市町村や西日本高速道路株式会社など)から発注された物件(プレストレストコンクリート橋梁やプレストレストコンクリート構造物など)を受注し、設計や照査、施工を行う会社です。私は主に、プレストレストコンクリート橋梁の設計や照査を行う技術部に所属しています。

入社一年目は、プレストレストコンクリートとは何か?という基礎を学ぶ一年間でした。内容として、プレストレストコンクリート橋梁の主桁や床版(プレキャスト部材)を製作している工場への研修や、施工中の現場にてコンクリートの打設状況を見学しました。このことにより、書物によるものだけでなく、実構造物に触れることでプレストレストコンクリートの基礎を学ぶことができました。二年目では照査業務に携わり、先輩方の補助を行うことで、業務の流れや工程管理について学ぶことができました。三年目は、三次元FEM解析や三次元温度応力解析業務を行い、その解析結果について報告書を作成し、自ら発注者に報告しています。さらに、土木学会、日本コンクリート工学会やプレストレストコンクリート工学会などの論文発表・聴講や、講習会の受講など積極的に参加しています。これらの経験により、社内の方々のみだけでなく、同業他社の方々と接する機会があり、より多くの専門知識を身に付けることができます。

最後に、私が当社に入社してから、摂南大学卒業生の方は一人も入社されていないため、今後、後輩の方々が当社に入社され、お会いできることを心から楽しみにしております。

公共施設総合サービス業



苅田建設工業株式会社

代表取締役 苅田 孝太郎

ISO9001 本社 〒660-0087
ISO14001 尼崎市平左衛門町18番31号
TEL (06)6419-2981(代表)
ホームページ: <http://karitakensetu.com>
三田営業所 三田市天神1丁目2-12
TEL (079)563-0095

KAIKEN-街づくりの総合コンサルタント
大規模開発(住宅団地・工業団地) /
土地区画整理事業 / 建築設計 /
環境アセスメント

株式会社 開発計画研究所

業者登録
・建設コンサルタント 登録番号・建(19)第4364号
・一級建築士事務所 登録番号・茨城県第A0994号
・測量業 登録番号・第5-15601号
・補償コンサルタント 登録番号・補18第2949号

代表取締役 井上 忍
(昭和44年3月卒業)
事務所: 東京・水戸
TEL 03-5828-6855

株式会社 日照技術コンサルタント

建設コンサルタント(測量・設計・調査)

得意分野 道路・一般構造物・上下水道
都市計画及び地方計画
測量全般・鉄道測量JR

代表取締役 市原 久照 (高専52年卒)

〒611-0041 京都府宇治市檜島町月夜3の2
TEL: 0774-22-7137 FAX: 0774-22-4966
E-mail: nissho-soumu@cyber.ocn.ne.jp
支店、営業所: 大阪支店・城陽営業所・南丹営業所

cosmotecosmotecosmotecosmotecosmotecosmotecosmo

地質調査、各種防災点検
土壌地下水汚染調査、地盤保証
各種構造物健全度調査等

土に関することならなんでも!!

株式会社 コスモテック

代表取締役 田中 昌明 (48年卒)

本社 〒577-0833 大阪府東大阪市柏田東町11-15
TEL: 06-6729-0290 FAX: 06-6729-1780
奈良営業所 〒635-0833 奈良県北葛城郡広陵町馬見南1-3-18
TEL・FAX: 0745-55-4443

E-mail: cosmotec@pop06.odn.ne.jp
URL: <http://www2.odn.ne.jp/cosmotec>

cosmotecosmotecosmotecosmotecosmotecosmotecosmo



ベステック株式会社

未来のために今できることを、
ひとりひとりの技術と信頼のネットワークで社会に貢献します

■宅地造成設計、土地区画整理設計、道路設計、
公園設計、下水道設計など、土木設計業務全般

大阪市中央区天満橋京町1-24 ストーク児島ビル
TEL 06-6945-5781 FAX 06-6945-5782

代表取締役 木下 幸佐 (摂大57年卒)



明日の快適な環境づくりに貢献する
総合建設コンサルタント

Active [活動的] Speedy [敏速] Customer [顧客本位] Onward [前進]



株式会社 アスコ

本社 〒550-0006 大阪市西区江之子島1丁目10番1号
TEL 06-6444-1121 FAX 06-6444-1021
奈良支社 〒634-0813 奈良県橿原市四条町279-1
TEL 0744-21-0041 FAX 0744-21-0031
神戸支社 〒657-0841 神戸市灘区灘南通5-4-15
TEL 078-871-5611 FAX 078-871-5541
和歌山支店 〒640-8044 和歌山市板屋町22
TEL 073-433-7751 FAX 073-433-7702
名古屋支店 〒460-0002 名古屋市中区丸の内1-14-24
TEL 052-219-6351 FAX 052-201-8071
東京支店 〒142-0042 東京都品川区豊町5-11-12
TEL 03-5749-3274 FAX 03-5749-3275

[営業所] 東大阪・奈良・香芝・五條・豊岡・姫路・京都北・京都市南・岐阜・各務原・
滋賀・京都・三重・名張・紀南・高松・徳島・久留米・静岡・神奈川・福井

HC 21世紀をグローバルに拓く

株式会社 花村コンサルタント

業者登録

- ・建設コンサルタント業 第8662号
- ・地質調査業 第1760号
- ・測量業 第14744号
- ・土壤汚染指定調査機関 環2003-2-30

代表取締役 花村 浩司 (高専C昭和47年卒)

本社 〒611-0042 京都府宇治市小倉町南浦9-8
TEL (0774) 21-5067 FAX (0774) 21-5068
大阪事務所 〒542-0012 大阪市中央区谷町7-3-4 新谷町第三314
TEL (06) 6764-7438 FAX (06) 6764-7439

大阪市内より30分圏内の
緑豊かなお墓地をご案内いたします。

お墓のことならどんな事でもお気軽におたずね下さい。

お墓の相談コーナー ☎0120(305075)

(株) 太田石材店



本社 大阪市城東区古市1丁目23番20号
TEL 06-6930-5075

当社推奨霊園

- 総持寺霊園(茨木市)
- 陰国寺墓地(吹田市)
- 海印寺墓地(長岡京市)
- 王寺霊園(奈良県)
- 東本願寺天満別院(北区)
- 北拱霊園(豊能郡)
- 真龍寺霊園(茨木市)
- 服部徳風墓地(豊中市)
- 竜の子霊園(奈良県)
- 玉手山墓園(柏原市)
- 飯盛メモリアルパーク(四條畷市)
- 飯盛霊園(四條畷市)
- その他公営墓地

株式会社 修成建設コンサルタント

代表取締役社長
八尾 博彦

事務所
兵庫・姫路・京都・
滋賀・福井・奈良・
和歌山・名古屋

卒業生
吉澤慶文 高専土木 S50
徳久仁志 高専土木 S54
小東宏光 摂大 H4
藤原基享 摂大 H7
川野真裕 修士過程 H20

調査・分析
特殊車両
施工計画
橋梁

環境
交通計画
都市及び
地方計画

河川・砂防
海岸・海洋
自然・環境・景観・街・文化、
交通・情報・システム、そして人
つねに新しいテーマに挑戦

港湾・空港
防災
道路
地下構造物

〒530-0055 大阪市北区野崎町7番8号 梅田パークビル 8F
TEL 06-6367-3800 Mail scssomu@shusei.co.jp

OCC

建設コンサルタント・補償コンサルタント・情報測量・情報管理
大島技術コンサルタント株式会社

本社 岡山県真庭市蒜山上福田829-1
〒717-0602 ひるせん TEL 0867-66-3673(代)
FAX 0867-66-3674
URL: <http://www.ogcfight.co.jp>

独自技術で未来を育むベストソリューションを提供します。

●環境・水
■多層多孔電気伝導度計測システム ■地下水資源探査・開発
■土壌・地下水汚染探査 ■環境予測・評価
■自然由来重金属迅速測定(ポルタンメトリック)

●海洋・エネルギー
■マルチチャンネル音波探査(2D・3D)
■水上三次元音波探査
■シングルチャンネル音波探査 ■海底地震計

●防災・減災
■土砂災害予測・計測システム ■空調写真・空間内部計測装置
■スリーブ開閉による地質構造探査と地震動評価
■ラベル型大口径サンブラー ■IT傾斜計測システム

●メンテナンス
■バルスレーダ探査 ■連続レーダ探査 ■EM探査
■コンクリート劣化診断 ■DoTEN-ik(孔内局部耐荷試験)
■孔内ベクトル造方計 ■SAAMジャッキ(軽量型リフトオフ試験機)

Doctor of the Earth 平成25年7月 創立70周年を迎えました。
Sincerely, Speedy, and best Solution.

川崎地質株式会社 〒108-8337 東京都港区三田2-11-15
TEL.03-5445-2071 FAX.03-5445-2073
Kawasaki Geological Engineering Co., Ltd. <http://www.kge.co.jp/> E-mail: post-master@kge.co.jp

地域の特性・環境資源を活かした
未来のまちづくり

空間情報技術のフロントランナーとして
「グリーンコミュニティ」を先導します。

大阪支店
〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場 2-3-2 (南船場ハートビル)
TEL : 06-6266-5931 FAX : 06-6266-5930

関西事業所 / 西日本事業本部
〒660-0805 兵庫県尼崎市西長洲町 1-1-15
TEL : 06-6487-1111 FAX : 06-6487-1300

国際航業株式会社
<http://www.kkc.co.jp/>

**地球の未来は
人の未来。**

鳥のさえずり、木々のざわめき、青い空と輝く海。
ほら、地球はこんなにも美しい。
これからも大切にしたいから、
僕らができること、
少しづつはじめるくちや。

Yes! Harmony
東亜建設工業

〒163-1031 東京都新宿区西新宿 3-7-1 新宿パークタワー <http://www.toa-const.co.jp/>

感謝の気持ちを未来へ。

建設業許可番号 国土交通大臣 許可 (特-21) 第20898号
一級建築士事務所登録番号 滋賀県知事登録 (口) 第1898号
ISO 9001:2008 登録番号 RQ0678 ISO 14001:2004 登録番号 RE0352

株式会社 桑原組
代表取締役社長 桑原 勝良

本社 〒520-1212 滋賀県高島市安曇川町西万木 926 番地
TEL 0740(32)2345(代) / FAX 0740(32)0700
大津本店 〒520-0801 滋賀県大津市におの浜一丁目1番24号
TEL 077(525)0999 / FAX 077(522)1418

広告募集!

摂南大学土木会では本会報へ掲載の広告を募集しています。
協賛いただけます企業等がありましたら連絡をお願いします。

問い合わせ先
E-mail : setsudokai_40@yahoo.co.jp
URL : <http://www.geocities.jp/setsudokai/> 内メールフォームから

『土木会』と『会員 (正・準)』との双方向の情報交換ならびに共有に、摂南大学土木会のホームページを活用しましょう

<http://www.geocities.jp/setsudokai/>

摂南大学土木会は都市環境工学科の JABEE 受審を全面的に支援しています